
JEITA LPB-SC LPB Workshop2022TG

活動報告

半導体&システム開発技術SC
SSD-SC



ワークショップ2022TG

■ ワークショップ企画・運営

- タイトル：LPB Workshop 2022
- TGLリーダー：村岡さん
- 日程：9月9日(金)
- 運営方法：Hybrid
- 場所：JEITA(関係者数名)+WebEx
- 時間：13:00～17:05予定
- 実施内容：ディスカッション形式
 - 今年度はこのやり方で進める(なるべく会場に集まれる前提)
- 懸念事項：ここにきて感染者の増加
 - Hybrid、Onlineの判断

ワークショップ活動スケジュール

準備期間約2か月

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
SSD-SC		▲(5/27)		▲(7/22)	▲(9/16)			▲(11/22or25)		▲(1/27)	▲(3/14)
LPB/SDF WG			▲(6/24)		▲(9/9)	▲(10/21)			▲(1/6)		▲(3/14)
ライブラリTG		▲(6/17)(7/29)	▲(8/8)			▲(10/7)	▲(11/11)	▲(12/9)		▲(2/3)	(4/7) ▲
イベント					▲(9/9) LPB ワークショップ 2022				▲(1/?) JEVeC 第15回フォーラム		▲(3/3)
■ イベント 実施方法検討 → プログラム内容検討 資料準備 資料事前公開 リハーサル? 実施方法決定 Webページ作成・管理 申込ページ作成 アンケート内容検討 アンケート準備											
■ 広報			▲(7月イベント告知)	▲(8月Web予約開始 18頃配置) メルマガ広報+開催の内容を 小林	▲(9月プログラムの概要を配信)	▲(9月講演資料公開)					



テーマ内容

▪ MBSEを皆で体験しよう(フロント)

→フローを作るのはこんな感じというのをやったらどうか？(ただし題材はどうか？)

→フローを作るメリットは何があるのかについて皆さんに聞いてみたい

→EMCのフローを分析するのは良いと感じているが、それ以外に何かあるのか？

→このタイミングでどんな粒度のモデルが必要か？

→GENESYSのオペレーションは？(するかも)

▪ 3Dモデルの話を広げる(デバイスモデルDXと共同で実施)

→電磁界解析をするときのモデル、どのシーンで使用するか？についてのレベル合わせが必要、シーンに合わせてモデルの粒度が変わる

→合わせて熱Exampleを検討してもよい

プログラム(案)	発表者	時間	タイムスケジュール
1. 開催にあたって	福場	10分	13:00-13:10
2. MBSEを体験しよう	担当	110分	13:10-15:00
3. 休憩		10分	15:00-15:10
4. 3Dモデルの検討	担当	110分	15:10-17:00
5. 閉会の挨拶・連絡事項	司会	5分	17:00-17:05

LPBワークショップ2022の反省

キーワード	コメント
Webex events	<ul style="list-style-type: none">・今回はJEITA大手町 + リモートで開催。全員リモートよりも運営がスムーズな印象。・リアルタイムで質疑応答できた。・画面が固まったり、音声が途切れたりはしなかった。・リアル開催を求める声も多かった(アンケートから)・参加者は43名と従来の2/3程度。・マイクシステムだと遠い人が声が小さかった為、全員ヘッドセットを使用した。声は聴きやすかったとの事。周りの音は拾ってしまう傾向は有る。・ブレイクアウトセッションの進め方は、事前に説明が有った方が良い。・ジェネシスの操作がもっとスムーズならもっと良かった。・ブレイクアウトセッションのグループ分けの事前説明が有れば良い。 →当日来てくれるか分からないので、事前のグループ分けは難しい・ブレイクアウトセッションの仕組みは慣れていないのでは？ →ブレイクアウトセッション自体は面白い
アンケート	<ul style="list-style-type: none">・今回はJEITAのシステムを利用。作成の手間が無いのは良い。・結果をタイル表示すると、選択項目が全文表示されない。・今回の回答率は、42%。第13回と比較すると10%程度低く、第12回に近い。・今のところ社内環境からアクセスできなかったという声は無かった。・アクセスはタブレット等からされる場合もあるが、回答はほぼPCが使われている。・アンケートシステムに違和感はなかった。使いやすい・JEITAは回答者については、教えてくれない。

LPBワークショップ2022の反省

キーワード	コメント
リハーサル	<ul style="list-style-type: none">・ブレイクアウトセッション機能について、当日のワークショップ前に実施。・
当日の配信について	<ul style="list-style-type: none">・大きなトラブルなく配信出来た。・
発表者	<ul style="list-style-type: none">・Windows PCを使用し、特に問題無く発表出来た。 (今回はLinuxで画面共有できない事象があった)・時々、マイクミュートを解除せずに話初めてしまった。・顔が見えない状態でファシリテーションするのは難しかった。
公開資料のURL	<ul style="list-style-type: none">・今回は事前に公開したが、直前に更新が入りあわただしかったという意見有り。 今回は事前に資料を公開しなかった。・直後にHPを確認した方から、資料がupされていないという問合せがあった。 順次公開する旨、HPに記載して対応。・公開が遅れる傾向有り。・会社で使っても良いか？ →OK

アンケート実施方法・回答数

- ・今回は前回までのGoogle Formsではなく、JEITAのアンケートシステムを使用。
- ・今回の回答率は、42%。第13回と比較すると10%程度低く、第12回に近い。
- ・参加者は43名と従来の2/3程度。
- ・第13回は全員リモートとしたが、今回はJEITA大手町＋リモートで開催した。
こちらの方が運営がスムーズな印象。

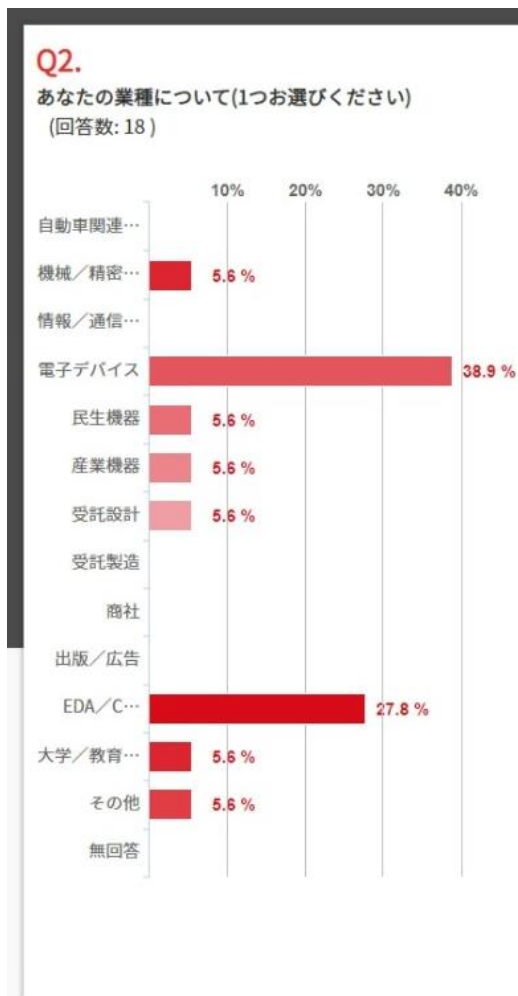
	回答数	参加者	回答率
第12回LPB Forum	28名	73名	38%
第13回LPB Forum	36名	69名	52%
LPBワークショップ2022	18名	43名	42%

アンケート内容

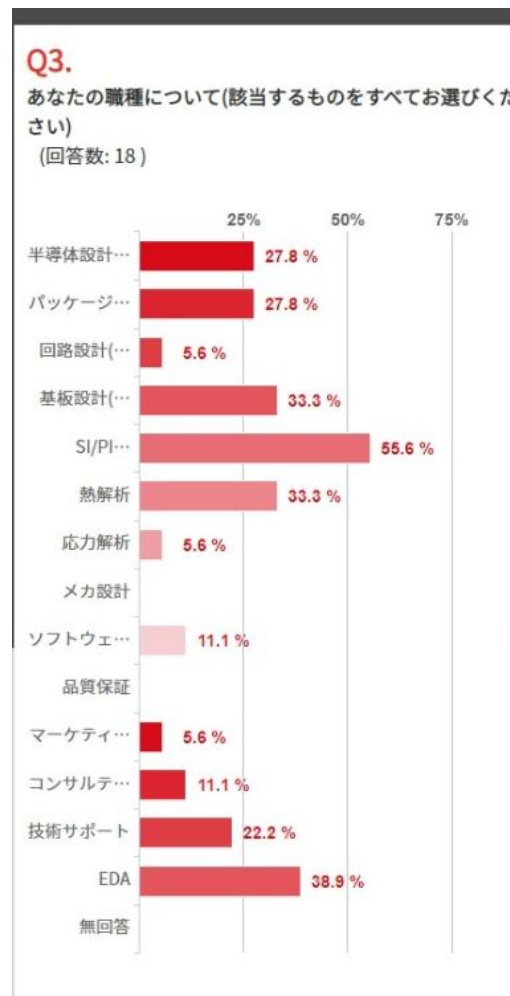


アクセスはタブレット等からされる場合もあるが、回答はほぼPCが使われている。

アンケート内容



従来同様に電子デバイス・EDA/CAEが約7割を占める。



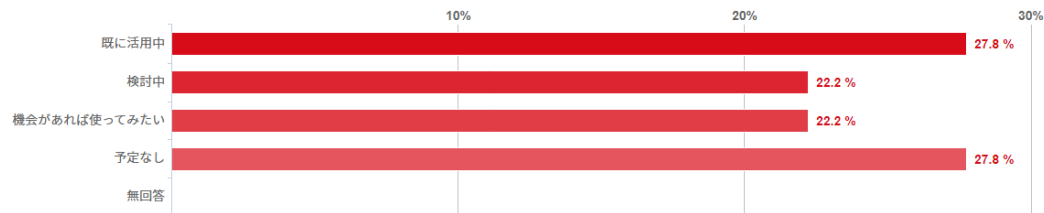
SIPI解析の割合が高い。前回と比較すると回路設計の割合が20%→6%に低下している。

アンケート内容

Q4.

あなたのLPBフォーマット活用状況について(1つお選びください)
(回答数: 18)

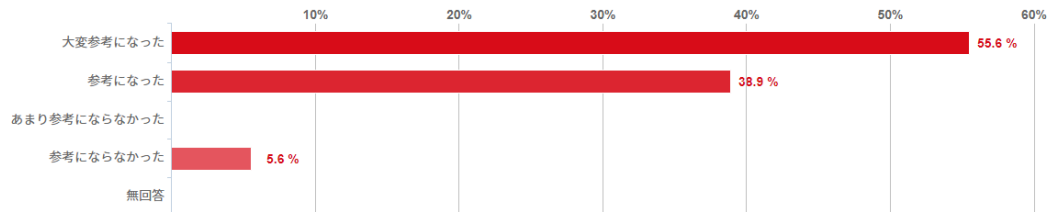
前回と比較すると活用中の割合は変わらないが、検討中が11%→22%に増加。



Q5.

本フォーラム全般について(1つお選びください)
(回答数: 18)

参考になったとの意見が多い。

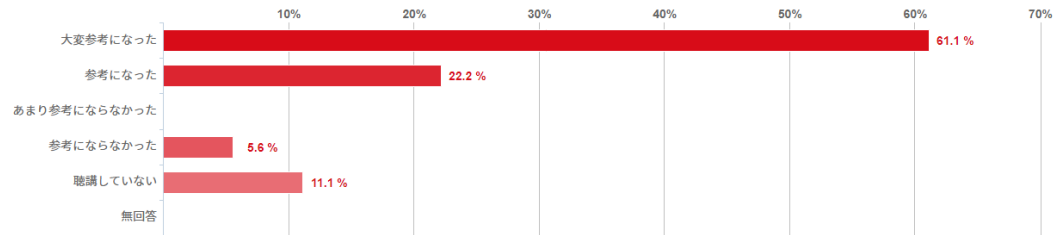


アンケート内容

Q6.

MBSE体験会について(1つお選びください)
(回答数: 18)

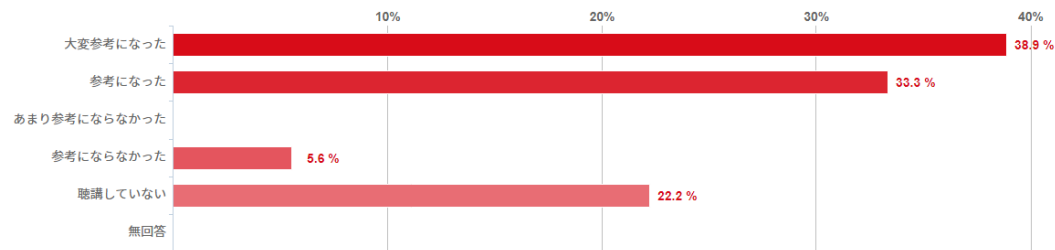
参考になったとの意見が多い。



Q7.

3Dモデル検討について(1つお選びください)
(回答数: 18)

参考になったとの意見が多い。

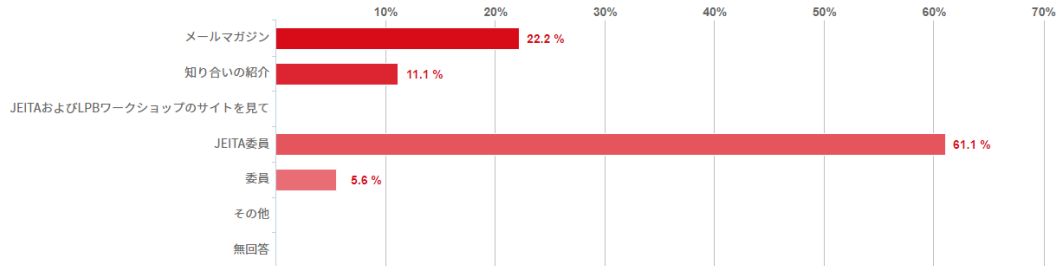


アンケート内容

Q8.

本ワークショップはどこで知りましたか？(1つお選びください)
(回答数: 18)

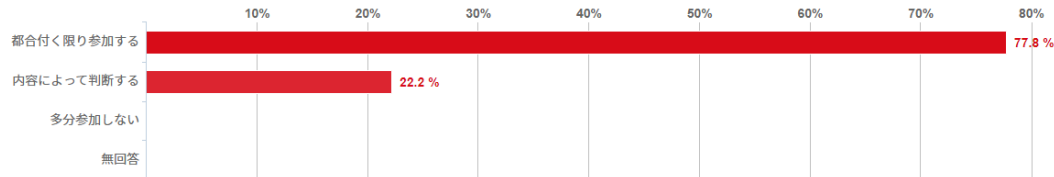
JEITA委員の割合が多かった為、前回半数を占めたメルマガの割合が低下。



Q9.

次回も参加したいですか？(1つお選びください)
(回答数: 18)

継続参加を希望する意見が多い。



アンケート内容

Q10.

LPBワークショップでディスカッションしたい内容はありますか？ご自由にお書きください

(回答数: 2 無回答: 16)

グループ	回答	性別	年齢
+グループ化	基本に戻って、もう一度協調設計の課題	無回答	無回答
+グループ化	設計フロー、協業の有り様については、様々な業種の方々のご意見をお聞きした	無回答	無回答

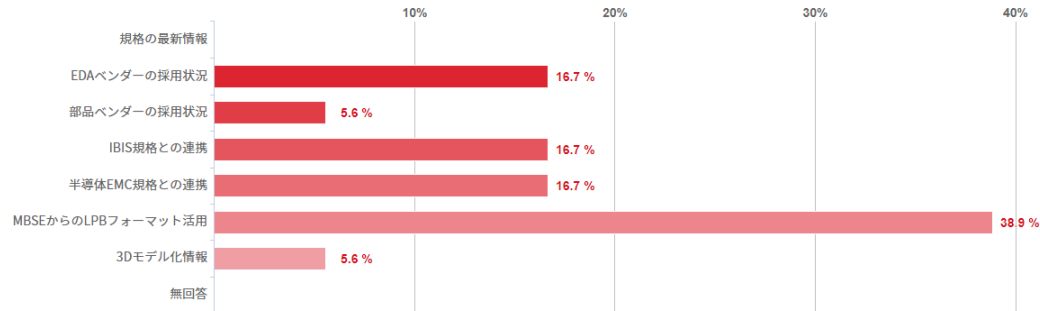
▼ グループ集計グラフを表示

アンケート内容

Q11.

次回何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選びください)
(回答数: 18)

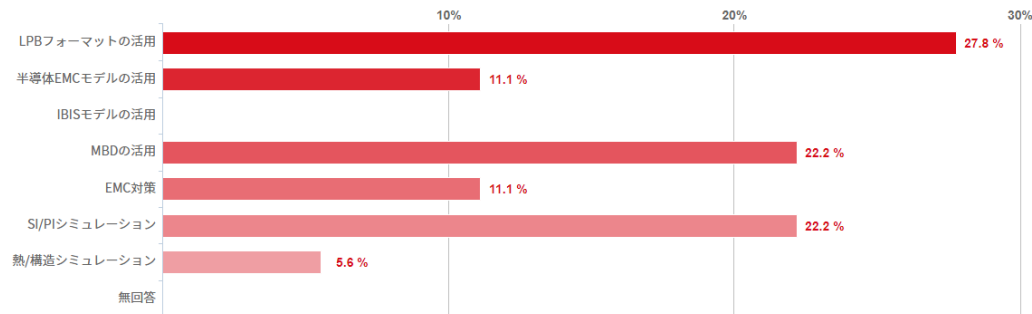
講演の内容が反映されたせいか、MBSEからのLPBフォーマット流用について希望する意見が多かった。



Q12.

次回何を取り上げて欲しいですか？(活用事例に関して1つお選びください)
(回答数: 18)

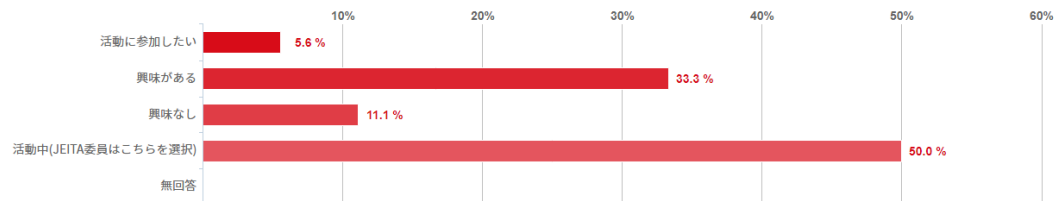
例年通りLPBフォーマットの活用事例を希望する意見が多かった。



アンケート内容

Q13.

半導体&システム開発技術SCの活動に興味がありますか？(1つお選びください)
(回答数: 18)



アンケート内容

Q14.

本活動に期待する事、本ワークショップで興味あった内容、もっと詳しく知りたい内容などご自由にお書きください

(回答数: 5 無回答: 13)

グループ	回答	性別	年齢
+グループ化	半導体設計者、電子機器設計者自身がシステムズエンジニアリングに取り組むことは、効率的にも品質的にも素晴らしいと思います。	無回答	無回答
+グループ化	普及活動頑張ります。	無回答	無回答
+グループ化	パワー半導体とLPB	無回答	無回答
+グループ化	ワークショップで興味があった内容：シミュレーション用3Dモデルについて、部品メーカーではなくモデルベンダーによる一括作成が望まれている点(その方が早い)が興味深かった。現状そこまでモデルベンダーによる供給が一般化しているわけではないとの印象があり、ユーザー側のニーズがまだそれほど高まっていないためかと推測していた。	無回答	無回答
+グループ化	開発案件の情報共有手段としてのMBSEの普及状況には注目していきたい	無回答	無回答

アンケート内容

Q15.

Webでの開催についてご意見があればお願いします

参加し易いという意見も有るが、リアル開催を望む声も多い。

(回答数: 8 無回答: 10)

[12 次へ](#)

グループ	回答	性別	年齢
+グループ化	今度はリアルをお願いします。	無回答	無回答
+グループ化	受付完了メールはきたがWebexのURLがこなかった。資料もダウンロードできない。	無回答	無回答
+グループ化	今回はHybridの形で開催したが、やはり担当者は集まって実施したほうが盛り上がりを感じた。コロナの状況が落ち着かなければ次回もHybridを検討したい	無回答	無回答
+グループ化	事情が許せば、Webよりも対面での開催が良い	無回答	無回答
+グループ化	Web開催にしていただけると、参加がしやすいため助かります。	無回答	無回答
グループ	回答	性別	年齢
+グループ化	早くオフラインの会議に戻り議論ができると良いと思います。	無回答	無回答
+グループ化	参加しやすいという点はメリットだと思います	無回答	無回答
+グループ化	早く会場で開催したい	無回答	無回答

前回状況

LPBフォーラム資料

第14回LPBフォーラム(Web)

第14回 LPB フォーラム(Web)にご参加いただき誠にありがとうございます。

<注意・お願い事項>

■ 参加者名に関するお願い

- ・参加者名は全参加者から相互に表示されます。予めご了承ください。
- ・参加者名は「社名/苗字(漢字)」をお願い致します。社名は略称で結構です。ルールに沿われていない方は、Webex再ログインにて変更をお願いします。

■ ウェブ会議システムの機能に関するお願い

機能	利用	コメント
マイク	○可能	発音時以外は「ミュート」でお願ひします
カメラ	×不可	-
画面共有	×不可	-
チャット	△基本不可	マイクが不調の場合ご使用ください(送信先は:全員)
撮影	×不可	動画・静止画 禁止

- 公開資料を先ほど更新しました。事前にダウンロードされた方は改めてご確認をお願いします。
- フォーラム終了後にアンケートご記入のお願いします。
- **本日フォーラム全体を録画させていただきたく、最初に確認させていただきます。(JEITA内でのみ使用)**

プログラム

ソシオ/簡

現在のセッション

	時間	内容
1	14:00-14:10	開催にあたって JEITA SD-TC 委員長 東芝デバイス&ストレージ(株) 福嶋 義憲
2	14:10-14:30	IEEE2401-2019の改訂に向けた検討状況報告 富士通(株) 大塚 育生
3	14:30-14:50	SerDesのイミュニティモデルとその活用 コニカミノルタ(株) 野村 毅
4	14:50-15:10	標準化をめざしたDCDC電源回路のビヘイビアモデルの検討 ルネサスエレクトロニクス(株) 坂田 和之
	15:10-15:20	休憩
5	15:20-17:00	【招待講演+ディスカッション】 超高速インターフェースの信号解析技術に求められる インターコネクトモデルとは？ ファシリテータ シーメンスEDAジャパン(株) 眞藤 国典



Copyright© JEITA SD-TC All Rights Reserved 2022

Page2



プログラム

ソシオ

	時間	内容
ただいま休憩中です 15:25から再開		
	15:10-15:25	休憩
5	15:25-17:00	【招待講演+ディスカッション】 超高速インターフェースの信号解析技術に求められる インターコネクトモデルとは？ ファシリテータ シーメンスEDAジャパン(株) 眞篠 国典

次のセッション



Copyright© JEITA SD-TC All Rights Reserved 2022

Page4

ディスカッション内容

・ポートの設定が重要

→ポート設定がノウハウならツールで何とかできないのか？

→ツール側から言うとお客がこのようにポート設定しているからそれに合わせてメッシュを切っているだけ

→ドキュメントを充実させ、ユーザーに知らしめる手法が必要？

→ドキュメントでは今は分からない、だからツールで検討

・使う側の意見

今は抽出していないので、抽出の仕方ですら結果が変わるのでこれからどうしたらよいかを考えるきっかけとなった

→もらうデータが正しいかどうかの判断はできないので信じて使うしかない

→抽出する側としては出来るだけインピーダンスを合わせて実施している

→PKGをくれという話はないのか？たまにはある

・セット

3Dモデルは扱いたくないので、精度の高いSpara等もらえるのが良い

ただここまで差が出る可能性がわかったので、Spara

・3Dモデルって入手できますか？

3DモデルはHFSSの暗号化モデルでなら提供している(暗号化できるソフト限定)

暗号化するためにはソフトの扱い、費用が掛かるので負担になる

メッシュ分割の関係でそれぞれのモデルを組上げたときにメッシュ生成に不具合が起こる

→誰も解決できない(変な結果でエラーが出ればよいが、答えを出した時に不備)

→暗号化されているが故の課題

・3Dモデルのフォーマットとは？

切中さんが扱っているのはSATデータ

3DデータをEDAツールで扱うための方法について(CとRを使用)

こういうモデルの場合はポートをこう設定するといった説明書きを要求するような形になると考えている

部品モデルの売り上げの貢献度がわからない？

→使った部品モデルのフィードバックは欲しい、その仕組みがあったら良いと感じる

連絡事項

ソシオ

連絡事項

第14回 LPB フォーラム(Web)にご参加いただき誠にありがとうございました。

<アンケートご記入のお願い>

ご参加いただいた皆様からのフィードバックをもとに、今後もイベントの運営と内容を改善してまいりたいと考えております。

つきましては、アンケートにご記入のうえ、ご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願い致します。

ご回答は3/3の開催案内メールの【URL】よりご投稿お願いします。
もしくは、以下QRコードをご利用ください。



LPB Copyright© JEITA SSD-TC All Rights Reserved 2022 Page5